

単元名

わくわくおもちゃスクール

～1年生さんに手作りおもちゃについて教えてあげよう～

『おもちゃ教室』をひらこう(東京書籍)

平成28年10月3日

男子8人 女子13人

計21人

本単元で育成する資質・能力

自己理解・自らへの自信 (資質・能力ルーブリックレベルⅢ)

1 単元について

I : 【考え・基礎知識】

手作りおもちゃについて、分かりやすい説明の仕方を知り、カードにまとめる。

C : 【つながり】

手作りおもちゃについて、分かりやすく説明する工夫を考え、【話し手】と【聞き手】に分かれて説明する。

E : 【応用・ひろがり】

「わくわくおもちゃスクール」を開いて、1年生に手作りおもちゃについて説明する。

児童の実態

- ★ 1年生や友達と楽しくかかわり、相手の立場に立って物事を考え、友達よさに気付くことができるようになってきたが、自分のよさに気付くことが難しい。 —①
- 1学期の「ことばで絵をつたえよう」の学習で、順序を表す言葉を使って説明することはできたが、大事な事柄を落とさずに聞き手に分かりやすく説明できた児童は48%である。 —②
- 1学期の生活科で、1年生に学校のことや生き物のひみつについて紹介することはできたが、1年生の様子を見ながら紹介するまでには至っていない。 —③

教材について

- 紹介するおもちゃの決め方についての説明がある。
→ 相手意識をもって、紹介するおもちゃを選ぶことができる。
- 紹介するおもちゃについて説明するためのカードの書き方のモデルがある。
→ カードの書き方(短い言葉・大事な事柄を落とさない)について学ぶことができる。
- 紹介するおもちゃを分かりやすく伝えるための説明がある。
→ 分かりやすい説明の仕方を具体的に学ぶことができる。

育成したい資質・能力と目標 ★【資質・能力】 ○【国語科】◎【国語科重点目標】

- ★ 学習の成果から達成感や自信をもち、自分のよさや可能性に気付くことができる。
【自己理解・自らへの自信 資質・能力ルーブリック レベルⅡ】
- おもちゃの作り方や遊び方を説明することに興味をもち、進んで説明しようとする。
【国語への関心・意欲・態度】
- 身近なことや経験したことなどから話題を決め、必要な事柄を思い出すことができる。
【話すこと・聞くこと ア】
- ◎ 相手に応じて、話す事柄を順序立て、丁寧な言葉と普通の言葉との違いに気を付けて話すことができる。
【話すこと・聞くこと イ】
- 大事なことを落とさないようにしながら、興味をもって聞くことができる。
【話すこと・聞くこと エ】
- 言葉には、事物の内容を表す働きや、経験したことを伝える働きがあることに気付くことができる。
【伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項 イ(ア)】

パフォーマンス課題とその特徴

生活科の単元「うごくうごくわたしのおもちゃ」と関連付けて、「1年生に分かりやすく手作りおもちゃについて説明する」活動を設定する。「1年生に分かりやすく説明するために」という目的と相手を意識し、おもちゃを説明するための視点「材料・作り方・遊び方」を明示し、カードにまとめて説明させることにより、必要な事柄を順序に気を付けて分かりやすく説明する力を付けることができる。また、1年生が興味をもって聞き、手作りおもちゃを作って遊ぶことができるように教えてあげるには、どのような順序で、どのような話し方をすればよいのか等を考え、工夫していく探究的な学習過程で、本単元で付けたい資質・能力を確実に育成できると考える。

指導のポイント

- ① 授業の中で、自分ができるようになったことや分かったこと、自信がついたこと等の振り返りをさせる。
- ② 教師による説明のモデルを提示して、どのような話し方をすれば相手に伝わるのかに気付かせる。
- ③ 手作りおもちゃの説明の練習をするときに、2つのペアがいっしょになり、【話し手側】と【聞き手側】に分かれて気付いたことを交流する場(「ダブルペア」の活用)を取り入れ、交流したことを基に、より分かりやすい説明になるように改善させる。

2 単元の評価規準

資質・能力 【自己理解・自らへの自信】	★ 1年生に手作りおもちゃを分かりやすく説明する活動を通して、達成感や自信をもち、自分のよさや可能性に気付いている。 【原小学校 資質・能力ルーブリック レベルⅢ】	
国語への関心・意欲・態度	話す・聞く能力	言語についての知識・理解・技能
○ おもちゃの材料・作り方や遊び方を説明することに興味をもち、進んで説明しようとしている。	○ 1年生に説明する手作りおもちゃを決め、説明に必要な事柄を考えている。(ア) ◎ 1年生に手作りおもちゃの作り方や遊び方が伝わるように説明の内容と順序を考え、相手の様子を見ながら丁寧な言葉で説明している。(イ) ○ 1年生が分かる説明になっているか、事柄の順序を意識しながら聞き、質問したり感想を述べたりしている。(エ)	○ 言葉には、事柄の内容や働き、経験したことを伝える働きがあることに気付いている。イ(ア)

3 単元の計画 (全12時間)

次	時	学 習 内 容	評 価		
			関 話 言	聞 問 語	
単元前		(生活科) 情報の収集(生) 課題発見のため ・動くおもちゃで遊んだり、自分で作ったりする。 ・自分や友達で作ったおもちゃで遊び、自分のおもちゃを改良する。 課題の設定(生) ・作ったおもちゃをどうするか話し合う。 →1年生に教えてあげたい。			○教科の評価規準(評価方法) ★資質・能力の評価規準(評価方法)
			手作りおもちゃで遊ぶのは楽しいな。 私は、「ころころ ころん」を作ってみよう。 おもちゃを変えたらどうなるかな。 今度は、おもちゃを電池からビーズに変えて試してみよう。 私たちが作った手作りおもちゃを1年生さんにも遊ばせてあげたいな。 遊ばせてあげるだけでなく、作り方も教えてあげよう。		
1	1	課題の設定(国) 課題設定のため ・教師による説明のモデルを見て、1年生を「わくわくおもちゃスクール」に招待して、手作りおもちゃの「①材料・道具②作り方③遊び方」を分かりやすく説明するという学習課題を確かめる。	○		○ 1年生に手作りおもちゃの「①材料・道具②作り方③遊び方」を説明する活動に関心をもち、進んで取り組もうとする。(児童観察)
	2	・1年生に説明したい手作りおもちゃを決める。 情報の収集1	○		○ 自分が遊んだり作ったりした体験を思い出し、材料や作りやすさを考え、1年生が作ることができるおもちゃを決めている。(児童観察)
	3	・説明したいおもちゃ「①材料・道具②作り方③遊び方」について調べる。	○		○ 説明したいおもちゃについて、必要な事柄を調べている。(カード・児童観察)
	4	・説明したい手作りおもちゃの視点①・②・③に沿って、調べたことを順序よくカードにまとめる。 ㊦まとめたカードを基に説明したい手作りおもちゃを作る。	○		○ 説明したい手作りおもちゃについて「順序」や「短い文で書くこと」に気を付けて、カードにまとめている。(カード)
2	5	情報の収集2 教材文から ・分かりやすく説明するためのポイントを見つける。	○		○ 「山のぼりかめさん」の説明を読み、分かりやすく説明するための言葉の使い方や話し方の工夫を見つけている。(カード・児童観察)
	6	整理・分析 ・教師が作った「パッチンガエル」の説明のモデルを聞きながら作り、相手に分かりやすいカードに手直しする。	○		○ 言葉には、相手に分かりやすく伝える働きがあることに気付いている。(作品・児童観察)
	7	・1年生に分かりやすくおもちゃを説明するために、順序を考えたり必要な言葉を付け足したりする。【本時】	○		○ 友達のアドバイスを基に、1年生に分かりやすく伝えるために、説明の順序を考え、相手に応じた話し方を工夫している。(カード・児童観察)
	8	まとめ・創造・表現			★ 友達と交流することで、自分の説明のよい点や改善点に気付いている。【自己理解・自らへの自信】(振り返り)
	9	・2年生で「わくわくおもちゃスクール」を開いて、友だちにおもちゃを説明する。	○		○ 友達のアドバイスを受けて、友達に分かりやすく手作りおもちゃを説明している。(児童観察)
	10	㊦「わくわくおもちゃスクール」に向けて、材料を準備する。			○ 1年生に分かりやすい説明になっているか、考えながら聞いている。(児童観察)
3	11	実行 ・「わくわくおもちゃスクール」に1年生を招待して、おもちゃについて説明する。	○		○ 今まで学習したことを生かして、1年生におもちゃを説明している。(児童観察)
	12	振り返り ・「原っ子マイスターカード」の「自己理解・自らへの自信」の視点により振り返りを書く。 ㊦「わくわくおもちゃランド」の準備をする。	○		○ 国語科の「話すこと・聞くこと」「話すこと」についてできるようになったことを振り返り、今後を生かそうとしている。(振り返り) ★ 「わくわくおもちゃスクール」を通して、1年生とのかかわりに関心を深め、自分のよさや可能性に気付いている。【自己理解・自らへの自信】(振り返り)
単元後		(生活科) ・「わくわくおもちゃランド」に1年生を招待する。			1年生さんが楽しめるように会場づくりを工夫しよう。 ルールを決めて、1年生さんに遊んでもらおう。

4 本時の展開 (本時 8 / 12)

(1) 本時の目標

★ 友達と交流することで、自分の説明のよい点や改善点に気付くことができる。

【資質・能力 / 自己理解・自らへの自信】

○ 1年生に分かりやすく伝えるために、手作りおもちゃの説明の順序や話し方を工夫することができる。

【国語科 / 話すこと・聞くこと イ】

	学習活動	◇指導上の留意点 ◆「努力を要する」状況と判断した児童への手立て	評価規準 (評価方法) ○教科の指導事項 ★資質・能力
課題の設定	1 本時のめあてを確認する。	◇ 児童と共に立てた学習計画を確認し、何のために本時の学習をするのか、目的意識をもって学習に取り組めるようにする。 ○○カードをパワーアップさせて、せつめい名人になろう。	この○○カードで上手に説明できるかな。 友達といっしょに考えて○○カードをパワーアップさせるぞ。
情報の収集	2 ダブルペアで、自分たちが説明する手作りおもちゃの「作り方」「遊び方」について説明する。	◇ ペアで説明するときには、4つの観点に気を付けることを全体で確認する。 【4つの観点】 (1)順序 (2)丁寧な言葉遣い (3)相手の様子 (4)言葉の工夫 ◇ 2つのペア(ダブルペア)がいっしょになり、【話し手】と【聞き手】になって活動させる。 【話し手】 ・ 4つの観点に気を付けて、手作りおもちゃの「作り方」「遊び方」を説明させる。 ・ 聞き手からアドバイスしてもらったことをカードに書き加えさせる。 ◆ カードの修正の仕方の例を示したり、学習の足跡(改善内容)を参考にさせたりする。 【聞き手】 ・ 4つの観点到注意して話し手の説明を聞きながら、実際に手作りおもちゃを作る。 ・ 説明を聞いて、よかった点や改善点を話し手に助言させる。	待つところ・見せるところ 【話し手】 4つのポイントに気を付けて、友達に説明するぞ。 【話し手】 どんな言葉を書き加えたらもっと分かりやすくなるのかな。 【聞き手】 1つの作業が終わってから次の説明をしてほしいな。 【聞き手】 ～の言葉を入れると1年生さんに分かりやすいと思うよ。
整理・分析	3 ペアで改善点をカードに書き加え、説明の練習をする。	◇ パワーアップしたカードを基に、手作りおもちゃの「作り方」「遊び方」を説明させる。	【話し手】 はじめに説明したときより、分かりやすいカードになった。
まとめ	4 学習のまとめをする。 【まとめの例】	◇ パワーアップしたカードを基に、ペアで説明させる。 ◇ 【聞き手】に【話し手】のよくなったところを評価させる。	○ 友達のアドバイスを基に、1年生に分かりやすく伝えるために、説明の順序を考え、相手に応じた話し方を工夫している。 (カード・児童観察)
振り返り	「ヨットカー」の作り方 ① はじめに、ペットボトルのふたにあなを空けます。 ② つぎに、だんボールに竹ひごを通します。 ③ それから、竹ひごにペットボトルのふたをつけます。 ④ さいごに、だんボールにほをつけます。	「ヨットカー」のあそび方 ① はじめに、はしらせたい方こうにヨットカーをおきます。 ② つぎに、うちわであおぎます。 ③ コースをきめて、友だちのヨットカーときょうそうさせてあそぶと楽しいです。	★ 友達と交流したことで、自分の説明のよかった点や改善点に気付いている。 (振り返りカード・児童観察)
	5 本時を振り返り、次時につなげる。 【振り返りの例】	◇ 単元のゴールとつなげて「本時で自信がついたこと」「『わくわくおもちゃスクール』に向けて、更に練習したいこと」の視点で振り返らせる。 私は、1年生に分かりやすい言葉をつけ加えて手作りおもちゃの「作り方」を説明することができました。でも、友達の様子を見ながらまっことができずにそのまま説明してしまいました。「わくわくおもちゃスクール」では、1年生の様子をしっかり見ながら説明できるように練習したいです。	

(2) 本時の展開

5 板書計画

ふりかえり

作り方

まとめ

めあて

「ヨットカー」の作り方

のまん中に

- ① はじめに、ペットボトルのふたにあなを空けます。
だんボールのあなを広げて
- ② つぎに、だんボールに竹ひごを通します。
通し方
- ③ それから、竹ひごにペットボトルのふたをつけます。
しっかり
- ④ さいごに、だんボールにはをつけます。
まっすぐ

○パワーアップタイム

- ・ せつめいをする。
- ・ アドバイスをする。
- ・ カードにつけたす。

○せつめい名人にチャレンジ

- ・ メッセージをおくる。

「ヨットカー」のあそび方

- ① はじめに、はしらせたい方向にヨットカーをおきます。
ヨットカーのうしろを
- ② つぎに、うちわであおぎます。
- ③ コースをきめて、友だちのヨットカーとぎょうそうさせてあそぶと楽しいです。

せつめい名人

- ① じゅんじよをあらわすことば
- ② ていねいなことば
- ③ あい手のようす
- ④ ことばのくふう

○せつめい名人のポイント

○カードをパワーアップさせて、せつめい名人になろう。

☆

じぶんのよき・じしん

わくわくおもちゃスクール ～一年生さんに手作りおもちゃについて教えてあげよう～

6 資質・能力ルーブリック

自己理解 自らへの自信	判断基準
A	友達と交流したことで、自分の説明のよかった点や改善点に気付いている。
B	友達と交流したことで、自分の説明のよかった点(もしくは改善点)に気付いている。
C	自分の説明のよかった点や改善点に気付いていない。